

第11回

栄光 OBフォーラム on Line



2020年 12月26日(土) 10:00- (ZOOM入室開始9:45)

オンライン会議サービスZOOMによるWebiner形式のイベントです。
インターネットに接続されたPC、スマートフォン、タブレットから視聴できます。
参加無料。専用申込サイトによる事前申し込みが必要です。
ご家族ご友人をお誘いのうえ、奮ってご参加ください。



申込サイト <https://forms.gle/vzQ2z5txNz3sjnYi9>

12月6日 カプセル帰還成功！

はやぶさ2を追いかけて（長い旅路の報告）

小惑星探査機はやぶさ2は、リュウグウで採取したサンプル（が入っていると思われる）カプセルを12月6日にオーストラリアのウーメラ地区に投下。カプセルは大気圏に突入、飛行後、回収される予定。

COVID-19により渡航が制限される中、カプセル回収隊の一員としての活動についてその旅路をレポートする。



藤本 信義 (29期) JAXA広報部

小学生のころ「学習漫画 大宇宙を探る」を手に取り、宇宙に興味を持つ。栄光学園在学中はStar TrekやStar Warsなどの映画をみて、宇宙に夢を膨らませる。早稲田大学理工学部に進学 在学中にカールセーガン博士に会い感激 制御工学で修士卒業後 1987年 宇宙開発事業団に入る。毛利衛さんのスペースシャトルプロジェクトから山崎直子さんの飛行まで23年間、宇宙飛行士の行う各種実験プロジェクトに従事する。駐在員を除けば一番たくさんスペースシャトル打ち上げを直に見た（と思う）。そのほか地球観測衛星のデータ解析、データ利用などに5年従事したのち 現職。ほかに 全国通訳案内士として、つくば市の国際交流団体での活動も実施中。

令和の国会～多元的政策提言の必要性～

安倍内閣のリーダーシップ、官邸主導は、多くの人々に認識されているが、菅内閣の目指すそれは、先の所信演説に見られるように、その延長線上に、あるいは、それを上回る勢いが感じられる。これらにより何が生じるか。統治機構の面では、内閣官房・内閣府の拡大、国会の内閣委員会への重要法案の集中（宇宙開発を含む）がある。政策提言の面では、最強のシンクタンクである官僚組織は、問題が省庁の垣根を超えた途端、その機能が弱まる。その場合の政策はどこから来るのか。議員立法にも一定の役割が担われている。

このように現在、行政と国会の在り方が大きく変わって来ている。多元的政策提言の観点から、私が国会職員として経験した具体的事例等を示しながら話したいと考える。



宮崎 一徳 (29期) 参議院内閣委員会調査室長

昭和60年参議院事務局に入り、議長秘書、法制局課長、委員部課長、管理部長等を経て、平成31年1月から現職。平成30年3月『議員立法の役割』で博士(公共政策学)の学位取得。最近の論文としては、「『特別区域等の手法』の分析」「現代総有第2号」現代総有研究所、2020年6月、「『草の根ロビイング』の展開—食品ロスの削減を推進する法律の成立—」『日本政治法律研究第2号』日本政治法律学会、2020年3月。法政大学大学院兼任講師、早稲田大学大学院兼任講師。日本政治法律学会監事、日本シニヤンシップ教育フォーラム会員。

■主催 栄光学園同窓会 鎌倉市玉縄4-1-1 ☎0467-44-8875

[E-mail] admin@eikoalumni.org [HP] <http://www.eikoalumni.org> [EACON] <https://eacon.alumnet.jp>